



報道機関 各位

記者発表資料

令和3年5月26日（水）

問い合わせ先：見沼小学校

校長：佐藤俊夫

担当：宍戸貴久（教頭）

電話：663-7342

見沼小学校児童のゆめと笑顔を国際宇宙ステーションに届けます

国際宇宙ステーションに子どもたちのゆめと笑顔の写真を運ぶ「こども宇宙プロジェクト2021」に見沼小学校が参加します。

1 目的

見沼小学校開校55周年を記念して、コロナ禍の今だからこそ、子どもたちが未来に向かう夢と希望を発信するために参加します。

2 当日の内容

- (1) 全校児童一人ひとりが、A4サイズのメッセージカードに将来の「ゆめ」を書きます。（5月末まで）
- (2) 校庭で開校55周年記念の航空写真を撮ります。本校のオリジナルキャラクター「もっくる」の一部を人文字で校庭に描きます。それを航空機から撮影します。
- (3) 教室に戻り、笑顔で「ゆめ」を書いたメッセージカードを持ち、クラスごとに各教室でクラス写真を撮ります。



「もっくる」

3 計画期間（撮影日）

令和3年6月1日（火）9:25～11:25 予備日 6月4日（金）

航空機上空飛来 9:55～10:00（校庭）

クラス写真撮影 10:10～11:25（各教室5分～7分）

*時刻は前後する場合があります。また、雨天時は予備日に延期します。

*コロナウィルス感染症の状況によっては内容を変更する場合があります。

*撮影にあたっては感染症対策をとって行います。

4 こども宇宙プロジェクト2021とは
〈計画の流れ〉

- (1) 第9回プロジェクトに参加します。今回は全国で200校限定です。
- (2) 全国200校から集まったクラス写真や航空写真を使って事務局が「モザイクアート」を作ります。モザイクアートの一部が本校のクラス写真や航空写真です。
- (3) モザイクアートを事務局がアメリカ合衆国へ受け渡しロケットに搭載します。
- (4) フロリダ州からロケットを打ち上げます。(2021年12月初旬予定) スペースX社のファルコンロケット、ドラゴン宇宙船を予定。(野口さんや星出さんが国際宇宙ステーションに行くのに利用したロケットはこの有人タイプです。)
- (5) ロケットは、国際宇宙ステーションに到着し、私たちの写真(モザイクアート)は、宇宙ステーションの日本の実験モジュール棟(きぼう)に一時、保管されます。
- (6) 滞在している宇宙飛行士がモザイクアートを宇宙ステーション内で広げてくれます。
- (7) これら一連の活動(ロケット打ち上げの様子や宇宙ステーションでの様子)はWEBで見ることができます。

<http://www.ksk-kokusai.co.jp/smilemission/>

- (8) 参加校にはクラスIDが付与され、IDを入力すると自分のクラスの写真だけ拡大して見ることができます。一般には見ることはできません(個人情報に配慮しての対応です)。

〈プロジェクト協力団体等〉

事務局: 国際総合企画株式会社 (東京都千代田区外神田3-7-2 tel 0120-17-5931)

協力団体: 文部科学省、JAXA(宇宙航空研究開発機構)、NASA(アメリカ航空宇宙局)、APRSAF(アジア太平洋宇宙機関会議)、ナノラックス社、(株)ラグランジェ、

応援団長: 宇宙飛行士 山崎直子(2010年、スペースシャトルディスカバリーに搭乗)

5 計画策定の経緯

「10万人の宇宙飛行士」計画

2009年3月、若田光一宇宙飛行士が本市の子ども達、約10万人分の写真が記録されたDVDをスペースシャトルで国際宇宙ステーションに持っていった。(本市の飛行記念品として2008年度在籍の市立小・中・特支学校のクラス集合写真を収録。)現在、そのDVDは飛行証明書と共にさいたま市青少年宇宙科学館にて展示中。当時の小・中学生が現在の見沼小学校児童の保護者になっている方も数名おり、親子2代で宇宙にゆめを運ぶことになります。

その後、2011年より同様のプロジェクトが民間主導で行われ、今回はその9回

目。

4月30日（金）学校だよりにて保護者、地域の方々に説明する。

5月 6日（木）講話朝会で校長より全校児童に説明する。

6 備考 さいたま市立見沼小学校 児童数417名